



こうべ森の学校だより

No.92
2020年5・6月号

発行人：こうべ森の学校 編集委員会

発行所：神戸市北区山田町下谷上中一里山 4-1

神戸市森林整備事務所内

Tel: 078-371-5937 Fax: 078-371-1087

新型コロナウイルス禍

こうべ森の学校
代表 藤原恒夫



2020年度活動方針の冒頭文面が、『安全第一は森林ボランティア活動においては基本中の基本です。2020年度の始まりは、新型コロナウイルス感染で世界がパニック状態になっている中からのスタートになりました・・・』となっています。その原稿を書いた時点、3月中旬では、まさか我々の「こうべ森の学校」もその真ただ中にいるとは思っていませんでした。

1月に中国で新型ウイルス、肺炎！？の報道がありました。あまり気にかけていませんでした。2月、日本においては、横浜港のクルーズ船内から新型コロナウイルス感染者が出ましたが、何とかこの周辺で収まるであろうと勝手に推測していました。それが、徐々に大都市圏で感染者が増えてきました。そして大阪神戸間の往来自粛要請が。その時点でも、そこまでしなくても、という声もありました。しかし、4月7日に7都府県に緊急事態宣言が出され、一気に緊張感が高まりました。17日には対象は全国に拡大されました。不要不急の外出は控える様に！それはGWにおける感染拡大の対策でしたが、その期間も5月25日まで延長されました。都道府県間の往来自粛はその後、6月19日まで続きました。

そのような状況変化の中、こうべ森の学校は、3月の月例会を中止しました。節目節目に検討会を重ね、4月5月も中止としました。6月7月も引き続き中止になっています。不特定多数の参加が予想されるイベントは3密が避けられません。また活動地再度公園までのアクセスの公共交通機関利用でも感染のリスクがあります。普段、平日の火木土曜日は12人位で活動を行っていましたが、4月8日からは平日活動も停止しました。長い70日を経て6月16日から火木曜日のみ活動を再開しました。その間、多くの会員さんから再開の問い

合わせがありました。自粛自粛の生活でストレスが溜まっているのが伝わってきます。活動停止の理由を丁寧に説明させて頂きますと、元々皆さんは、事態を理解はされているのですね。早く普通の生活がしたいですねと納得してくれます。

さて、6月16日の活動再開初日はマスク着用で18名の会員さんが集まりました。



マスクの上から表情はよく分かりませんが、雰囲気から喜びが伝わってきました。一人一人伺っていますと、当たり前の普通の生活が、これ程にありがたいものか。ひしひしと感じます。日常の中では、ともすれば忘れがちになる感謝の気持ちを持ち続けたいものです。かつて神戸は、阪神淡路大震災に見舞われましたね。その時も日常生活の有難さを認識させられました。忘れた頃に・・・。

新型コロナウイルスの正体はまだまだ分からないことが多いです。専門家の意見も変化しています。今までの経験値からは判断を誤ることもあります。未知故に怖いですが、むやみに恐れているのは窮屈でストレスがたまるばかりですから、分かっていること、分からないことを正しく理解して行動したいものです。こうべ森の学校の運営も、状況に応じて対応していきたいと思います。早く新型コロナウイルス感染症のワクチン、特効薬が開発されることを願ってやみません。



2020年に撮影した野鳥

村瀬 眞一郎

ソウシチョウ

漢字では「相思鳥」と書きます。本来は、ヒマラヤ、ミャンマーなどにいましたが、きれいな色をしているので、江戸時代に愛玩用として輸入飼育されてきました。



現在では、本州中南部、四国、九州などで繁殖していると言われています。

右の写真は、有馬富士公園で撮影しましたが、森林植物園や鳥原貯水池でも見かけたことがありました。

ヒレンジャク、キレンジャク

漢字では、「緋連雀」、「黄連雀」と書きます。2020年2月20日、自宅前の電柱に突然100羽近くが現れました。(写真左)よく見ると、尾の赤い鳥と黄色の鳥が混ざっていました。尾の赤いのは「ヒレンジャク」(写真中)です。赤いので、「緋」連雀と書きます。尾が黄色は「キレンジャク」(写真右)です。黄色なので、「黄」連雀です。いっぱい群れているので、「連雀」です。

撮影の3日前から、自宅近辺に現れたそうです。知人数人に確認したところ、筑紫が丘、小倉台、桂木など神鉄山の町駅周辺の住宅街に来たことが分かりました。クロガネモチなどの実を食べ尽くされたり、駐車場の車の屋根が糞だらけになったりした家もありました。



■お知らせ・掲示板

♠こうべ森の小学校 & 森のようちえん

♠摩耶の森クラブ

(活動日の問い合わせは、神戸市森林整備事務所に)

♠ボランティア保険に加入していますか

森の手入れの作業中の事故に備えて「兵庫県ボランティア・市民活動災害共済保険」への加入手続きをされていますか。掛け金は500円の負担で補償期間は4月1日から翌年3月31日までです。受付窓口はお住まいの市区町社会福祉協議会です。

会員活動の開催予定日

・月例会は中止しております。

新型コロナウイルスによる感染症拡大防止のため、月例会は中止しており、平日火曜日と木曜日の活動のみとなっております。

「こうべ森の学校」は、発足当初から物心両面にわたり伊藤ハム株式会社の社会貢献活動の支援を受けて運営されています。

こうべ医療者応援ファンドに寄付をしました



ファンドの缶バッジ

コロナ感染治療等にあたる医療従事者を支援する「こうべ医療者応援ファンド」が創設されました。当学校では山の活動で出た間伐材を利用した木工作品や炭を販売しております。この売上はプールして、主に社会貢献の資金に充て、これまで東北の被災地を支援してきました。

今回はこのファンドに賛同し寄付しました。

こうべ森の学校手ぬぐいが完成しました



再度山と修法ヶ原池を背景に堂々と立つ風楽山荘をモチーフにした紺に白の染抜きの日本てぬぐいです